

## 水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	2017/5/31
タイトル	ほたるの里百間の会～田植え～in田んぼの学校2017
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 参事 星野 恵美子

平成29年5月21日、栃木県那須塩原市二区町において、「ほたるの里百間の会」の田んぼの学校が開催されました。丁度1ヶ月前の4月22日に種まきした苗がすくすくと育ち、今日は待ちに待った田植えの日です。絶好の田植え日和で、地元農家の方々や親子で参加の小学生、ボランティアの高校生など50名程が参加しました。

まずは苗の植え方です。「苗は3本ずつ摘まんで植えて下さいね。たくさん植えてしまうと育ちが悪くなってしまいますので、駄目ですよ。」子供たちは真剣な顔で説明を聞いていました。いよいよ田んぼに入る訳ですが、初めての子はおっかなびっくりで、足元がおぼつかない様子でした。私も1年ぶりの手植えで、ペースがなかなか上がりませんが、隣の女の子は大人顔負けで、大変上手に植えていました。

田植えが終り一息付いた後、次はサツマ芋の苗を植える作業です。たった1本の苗からいくつもの大きな実が育つなんて不思議ですよ。植物の生命力を感じます。今の時期、今年は雨が極端に少なく、乾いた苗床に深く植えなければならなかったのが、子供達も一所懸命にやっていました。

農作業の後はお待ちかねの「こじはん」の時間です。仕事の後のおむすびや豚汁は格別で、毎回、農家のお母さんが丹精込めて用意してくれています。参加者全員、笑顔で大変美味しくいただきました。お母さん方と自然の恵みに感謝です。

今年も種まき、田植えと、秋の収穫まで、この田んぼの学校には、子供たち自らが農作業を通じて、食の大切さを学ぶ絶好の機会だと捉えています。子供達はもちろん参加者全員が自然と親しみながら、水・土・里の尊さを感じながら心身ともに成長して行くことを望んでいます。

水土里ネット那須野ヶ原は、こうした地域の活動に積極的に関与し支援しているところです。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

